

第15回美郷町民 マレットゴルフ大会 決勝大会

(9月15日 美郷町大台野広場マレットゴルフ場)

■男性の部

- 第1位 泉谷 裕 さん(駅前)
- 第2位 齊藤 猛 さん(塚)
- 第3位 高階 英海 さん(元本堂北部)

■女性の部

- 第1位 鈴木 キエ さん(一丈木)
- 第2位 樫尾 貞子 さん(安城寺下)
- 第3位 坂本せつ子さん(一丈木)



活躍・表彰 おめでとうございます

第6回 秋田25市町村対抗駅伝 ふるさとあきたラン! 鹿角大会

(10月6日 鹿角市内循環特設コース)

10月6日に開催された「第6回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン! 鹿角大会」に、美郷町から2チームが出場しました。このうち、Aチームが町の部で優勝を果たし、総合の部でも第2位となりました。美郷町が町の部で優勝するのは2大会連続、総合の部第2位は過去最高の成績となりました。



ボランティア ありがとうございます

9月8日、秋田建築労働組合大仙美郷支部青年部の皆さんによるボランティア活動として、緑石の補修作業が行われました。ありがとうございました。



各界のスペシャリストから学ぼう

美郷カレッジ

各分野の第一線で活躍されている方々を講師に迎える「美郷カレッジ」を美郷町宿泊交流館ワクスで開催し、9月14日には名古屋大学大学院環境学研究科教授の渡辺俊樹氏が「地震を知る・地震を探る」と題して講演しました。講演では、地震のメカニズムやさまざまな地震活動の事例を紹介し、渡辺氏は「地震の強さとそれに対する備えのバランスで災害の大小が変わる。地震への備えを十分にしてほしい」と話しました。

また、9月21日には長野県軽井沢町にあるセゾン現代美術館の学芸員である坂本里英子氏が「つくる快・見る快」と題して講演しました。講演では、美郷町にもゆかりがある鴻池朋子さんや大小島真木さんをはじめ、国内外で活躍している画家の作品を紹介し、坂本氏は「芸術作品に触れるうえで一番大事なことは、最も心地良く感じる『快』の見方を探ることだ」と話しました。



■坂本里英子氏



■渡辺俊樹氏

ドリーム体験!ほんもの講座

町内小学生が影絵劇を鑑賞

9月18日、美郷町公民館で「ドリーム体験!ほんもの講座」が開催され、町内各小学校の1、2年生の児童が影絵劇を鑑賞しました。

影絵劇を披露したのは、国内外で公演活動を行っている影絵集団「かしの樹」。当日は物語「あらしのよるに」を題材にした影絵劇の披露のほか、児童たちへの影絵講座が行われました。影絵劇を鑑賞した児童からは「影絵劇を見て感動した」「初めて見た影絵劇はおもしろかった」といった感想が聞かれました。



ご長寿おめでとうございます

高階ミサさんが満100歳に

10月8日に満100歳の誕生日を迎えられた高階ミサさん(黒沢)のもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。テレビが好きで、相撲や歌番組をよく見ているという高階さん。高階さんのご長男に、高階さんの長生きの秘訣を尋ねると「好き嫌いなく何でも食べることだ」と話されました。これからも元気で過ごしてください。



ご長寿おめでとうございます

富樫金榮さんが満100歳に

10月10日に満100歳の誕生日を迎えられた富樫金榮さん(大柳)のもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。お刺身とお酒が大好きという富樫さん。「長寿の秘訣はなんですか」と松田町長が尋ねると、「草むしりや散歩などで体を動かしていることだ」と話されました。これからも元気で過ごしてください。



節目の15周年記念大会を開催

美郷町民パークゴルフ大会

美郷町では各種町民スポーツ大会が行われており、ことしはその多くが15回目の節目を迎えます。このうち、9月22日には「15周年記念大会」の冠が入った美郷町民パークゴルフ大会が開催されました。

この大会は雁の里山本公園パークゴルフ場を会場に行われ、当日はパークゴルフを楽しむ多くの参加者たちで賑わいました。



美郷町合併15周年記念事業

介護予防講演会

10月2日、介護予防講演会が美郷町公民館で開催され、町民230人が参加しました。株式会社GOBOUの代表取締役で、テレビ番組にも多数出演している築瀬寛氏(通称:ごぼう先生)を講師に迎え、「ごぼう先生の笑顔が広がる健康体操」と題して講演が行われました。

「介護に対する心構えをしておくことも予防の一つ。介護に関する情報をもっておくことで不安や心配が軽減される」と話したごぼう先生。ユーモアを交えながら行われた事例紹介や健康体操で、会場は大いに盛り上がりました。



もしもの時に備えて

美郷町分区赤十字奉仕団町内研修

10月9日、美郷町分区赤十字奉仕団の研修が美郷町北ふれあい館で行われました。当日は日本赤十字社秋田県支部から講師を招き、非常炊き出し訓練や負傷箇所への三角巾の巻き方に関する実技講習が行われました。

また同日、災害時の豆知識を学ぶための講座も開催されました。講師を務めた日本赤十字社秋田県支部の碓谷寿朗氏は、阪神淡路大震災で発生した火災の6割が通電火災(電気復旧時に起こる火災)だったことに触れ、「慌てて忘れがちだが、避難する時は元栓を閉めることとブレーカーを落とすことを行ってほしい」と話しました。



MISATOPICS
町の話題